



第13回日本医学会総会で「癌の本態観」と題する総会講演を行った。1951年（昭和26年）

がるが、この時、血管はどのようにして新しくできるのか。」を研究テーマとして与えました。すると、佐々木さんは、

「これについては、これまでに定説があります。」

と言って、研究することに不満をもらしました。

すると富三は、にっこり笑って、

「定説を考えたのは人間です。世の中では、知識も考えも流動しているのです

から、定説も変わるかも知れません。

わたしたちが調べてみても同じ結果

になるかどうかは、やってみないと

わからないのです。私は、正しい事

実が知りたいのです。定説も不変で

はないのですから……。ベルリン大

学の先生も言っていたのは、『まず

はやってみろ』です。」

富三の研究は、「実際に調べてみる。」一つのことをいろいろな側か